

令和 4 年度

「岩手県教職員働き方改革プラン」策定・推進会議資料  
保 健 体 育 課

## 地域部活動推進実践研究事業について

## 1 事業概要

## (1) 趣旨・目的

休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域の特色に応じた地域部活動の仕組みの構築を推進するために実践研究を実施し、地域の運営団体の責任の下で行われる活動の成果、課題を整理するとともに、運営団体が担っていくこととなる業務、活動経費（指導者への謝金、参加者の費用負担等）、指導者（地域人材）の確保及びマッチングの仕組みなど、地域移行へ向けた体制の構築に取り組んでいくもの。

なお、本事業はスポーツ庁の国庫委託事業を活用するものであり、令和 5 年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究を全国各地で行うもの。

## (2) 実践研究の内容

## ア 地域部活動の実践（主体：運営団体）

① 実践期間：令和 3 年度～令和 4 年度

## ② 研究内容

- ・運営団体が担っていくこととなる業務の整理
- ・活動経費の把握等
- ・平日の部活動と休日の部活動の指導に関する調整方法
- ・合同部活動実践の場合の活動方針等

## ③ 運営団体

- ・令和 3 年度：市町村教育委員会を運営団体とし実践研究を実施。
- ・令和 4 年度：総合型地域スポーツクラブ等、民間の団体も運営団体とし実践研究を行うことを想定。

## イ 地域人材の確保、マッチングする仕組みの構築（主体：県教委、県文化スポ部）

① 取組期間：令和 3 年度～令和 4 年度

② 取組内容：地域指導者（地域人材）について、各地域の運営団体等へ情報提供を図るとともに、指導者紹介に対する対応の仕組みを構築していくもの。

## ウ 地域部活動運営マニュアル（仮称）の作成（主体：県教委、県文化スポ部）

① 取組期間：令和 3 年度～令和 4 年度

② 取組内容：実践を踏まえ、地域部活動導入に係る一連の流れ、経理関係等をマニュアル化する。

## 2 令和4年度地域部活動実践研究の具体的な取組内容

	岩手町	葛巻町	大船渡市
実施主体	町教育委員会が 町体育協会に委託	町教育委員会が 町スポーツ協会に委託	市スポーツ協会
対象中学校	町内全3中学校を対象	町内全3中学校を対象	市内全4中学校を対象
取組内容	ホッケー競技の部活動で 実践	全ての部活動（7競技） で実践	5競技の部活動で実践
教員の 兼職兼業	1名が許可を受けて、地 域人材として指導に従事	1名が許可を受けて、地 域人材として指導に従事	

## 3 実践研究に係る主なスケジュール

岩手町	葛巻町	大船渡市	内容
6月	5月	7月	第1回検討・運営会議（方針の確認等）
9月	5月	7月	実践研究開始（～1月）
	11月		第2回検討・運営会議（情報共有・中間報告）
	12～1月		生徒・保護者対象アンケート実施（費用負担等）
	2月		第3回検討・運営会議（成果報告、実践検証等）

## 5 令和5年度以降の取組予定

### ア 国の動き

当初、まずは休日の部活動から段階的に地域移行していくことを基本として、達成時期は令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途とし、この3年間で「改革集中期間」と位置付けていた。

しかし、自治体などから「3年間での地域移行は困難」などといった意見を受け、令和4年12月に公表された国のガイドラインでは、令和5年度から7年度末を「改革推進期間」として、学校部活動の地域連携及び地域クラブへの移行に取り組むこととし、達成時期を設けずに可能な限り早期の実現を目指すことと修正された。（地域の実情に応じ、当面は学校部活動と地域クラブ活動が併存することが示された。）

また、令和5年度当初予算案では、部活動の地域移行や学校の合同部活動等の取組に係る実証事業を実施し、令和6年度からの施策に反映させることとしている。

### イ 県の方向性

早期の取組を行う市町村と連携して国の実証事業に取り組むとともに、これまでの研究成果の普及・発信を行い、学校部活動の地域連携や地域クラブへの移行を促進していく。